



一般社団法人

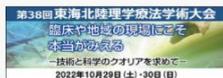
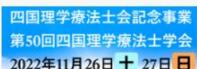
香川県理学療法士会

Kagawa Physical Therapy Association

香川県理学療法士会 Since 1999 会員数：1170

新型コロナウイルスに関わる情報

- ・ **NEW!** 感染拡大防止対策期における対策について (04.09.21)
- ・ **NEW!** 知事からのメッセージ (04.09.21)
- ・ 香川県士会各種事業開催指針 Ver.16 (04.07.21)
- ・ 士会活動等の実施におけるガイドライン Ver.6 (03.11.18)
- ・ **NEW!** イベント開催等における感染防止策 (04.09.08)
- ・ **NEW!** 感染防止のチェックリスト (04.09.21)
- ・ 香川県BA5対策強化宣言 (04.09.08)



香川県理学療法士会の新しいHPが出来ました!!

地域別の会員在籍施設の紹介や、健康体操の動画などコンテンツが盛りだくさん!!

是非一度閲覧してみてください!!

一般社団法人香川県理学療法士会 広報誌

巻頭言.....1-2

新理事としての抱負.....3

新部長としての抱負(学会部).....4

新部長としての抱負(広報部).....5

新部長としての抱負(スポーツ支援部).....6

新部長としての抱負(健康増進推進部).....7

日本理学療法士会名誉会員に認定されました.....8

香川県理学療法士会永年会員表彰.....8

香川県理学療法士会員リレーエッセイ.....9

理事会報告.....9

賛助会員広告.....10

編集後記.....11



巻頭言

香川県理学療法士会
副会長：藤井 保貴



～「言葉」と向き合い、「自分」と向き合う～

8月に入り、ひととき厳しい日差しが照り付ける中、再び新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、皆さんの中でも大きく影響を受けている方もいることと思います。なかなか制限なく行動することは難しく、様々な思いがあると思いますが、引き続き感染予防を徹底しながら、皆さんや家族の健康を守りつつ、理学療法士としての責務を全うして頂けることを期待します。

また、先日は参議院選挙において業界団体の組織代表を国会に送るべく、組織として取り組んでまいりましたが、残念ながらわずかに届かず、苦杯を舐める結果となってしまいました。この活動の中でも、多くの方が皆さんに向けて大事な「言葉」を送り続けてきましたが、皆さんはどのように受け止められたでしょう？大きな目標を達成できなかったことに対し、「言葉」を発した側も受けとめた側も振り返りながら「自分」と向き合い、次への挑戦に繋げてほしいと強く願います。

私は、理学療法士となってから今年で29年目になります。ちょうど15年前のPTジャーナルの「とびら」のコーナーで「言葉と向き合い、自分と向き合う」という題で投稿したことがあり、今回は改めて個人の理学療法士として「自分」と向き合ってみたいと思います。

皆さんはどのような理学療法士になりたいですか？実際に今、自分が言葉にした理学療法士に近づいていますか？私が理学療法士になろうと決めたのは、高校時代の友人が「医者足は治してくれるが、リハビリの先生は俺の心まで治してくれる」といった「言葉」でした。自分が理学療法士になるきっかけをくれた友人には、本当に感謝しています。15年前のジャーナルでも「心を治せる理学療法士を目指す」と記していましたが、今は少し変わって「巧い理学療法士になりたい」と思っています。

次ページに続く…→



※「巧人」の勉強会風景

長年、理学療法士をしているなかで感じることは「気力の源は体力なり！」という事です。「心を治す」ということは、結果的に達成できたとしても、治療戦略としては難しいと感じていましたが、体力を向上させるための戦略は、様々な方法があり、具体的に取り組めるからです。自分が目指す「巧い理学療法士」になるために同志を集めて「巧人」というグループを作り、コロナ禍前は毎月勉強会を開き、切磋琢磨していました。この勉強会では機能解剖を理解し、みんなが少しでも巧く治療ができるようになることを目標に取り組んできたことで、自分自身が「巧い理学療法士」に大きく近づけたと確信しています。「巧人」の理念・思想は1. 人の心と体を理解し、解釈するべし、2. 人の心と体は摩訶不思議と心得るべし、3. 己の感性を研ぎ澄ませるべし、4. 人の心と体に不変はありえず常に変容を求め続けるべし、5. 巧い技と大きな人間力を備え同志と共に鍛えるべしとしています。このように、自分が目指す理学療法士像を「言葉」にすることと、同じ目標を持った同志がいることで、より具体的に「自分」と向き合うことができるようになりました。皆さんも、自分の理学療法士人生に納得がいくように、時々、言葉にして「自分」と向き合ってみてください。



新理事としての抱負

理事(研修部・広報部担当)

藤岡 修司



今年度より香川県理学療法士会(以下、本会と略)の理事になりました香川大学医学部附属病院の藤岡修司です。よろしくお願いいたします。

私が担当するのは、研修部と広報部です。研修部は、会員に向けた研修の企画、運営を主な活動としています。広報部は、主に本会内外に向けた広報誌の作成と発行を行っています。また、各事業部の活動報告を周知する活動も行っています。理事として、計画執行状況の把握・管理はもちろんですが、各部員のマネージメントを図り、やりがいのある活動へと導くことだと考えています。

本会の活動を行うことの最大の魅力は、他施設の理学療法士とつながりを持つことだと思います。活動を通して多方面から情報入ってきますし、多くの刺激が得られます。そのことで、仕事へのモチベーションが上がることも多々あります。

私自身、2年目から本会の活動を行っています。初めは何もできず、自分は必要な部員なのか？不要ではないか？と思ったことが多々ありました。でも、それは間違っていました。今になって分かったことは、何かができるから本会の活動をするのではなく、何もできないからこそ本会の活動に参加する必要があるということです。活動を通し、他施設の理学療法士とかかわり、職場では得られない経験を積むことで成長する機会を得られる場なのです。

本会の活動をやってみたい、何か変わりたい、身近に頼れる人がいないなど理由は何でもかまいません。ぜひ、活動を通して、臨床では得られない経験をしてみてください。





新部長としての抱負

学会部部长

廣瀬 和仁



今年度より学会部部长に就任しました、香川大学医学部附属病院の廣瀬和仁と申します。学会部の主な役割は、香川県理学療法士学会(以下、学会と略)および学術的スキルの向上に寄与する研修会等の企画／運營業務となります。学会そのものは、臨床における疑問や問題点に関して、単一または複数の症例を通して検討し、得られた知識や技術を公に発信する場です。大規模なデータ解析に基づいて科学的根拠を示していく研究発表はもちろん大切ですが、一人の症例に向き合っ得た考えや知見も同様に価値があり、個人的には、香川県内で日々地道に臨床経験や技術を培われている先生方の貴重な経験を、できるだけ多く会員の皆様で共有できる、そのような県学会になれば良いなとイメージしております。ただし、学会発表に至るまでにはちょっとしたルールや型みたいなものが必要ですので、そのような情報を広く会員の皆様へ普及・浸透させるようお手伝いをさせて頂く事が学会部として重要と考えています。

さて、ここまで、さも臨床研究のエキスパートのような物言いをしてしまいましたが、私自身は別に修士や博士の取得や、論文投稿など、皆さまに誇れるような学術的なステータスは保有していません。そのような私が学会部の部長にふさわしいものかと自問いたしました。しかしこのような私でしかできない事もあると思います。そして、学会部には何でも相談できる宮崎理事、頼もしい部員の先生方々がついています。そんな学会部の皆さんに大いに頼りながら、足りない部分は努力で補いながら、泥臭く任期を全うしたいと開き直っております。運営マネジメントの経験もないので、多々ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、少しでも会員の皆様の益となるよう精一杯頑張りますので、今後とも宜しくお願いいたします。



新部長としての抱負

広報部部長

三村 真士



今年度より広報部部長を拝命致しました、キナシ大林病院の三村真士と申します。四国医療専門学校8期生として卒業し、現在臨床14年目に突入しました。

広報部の主な役割は、本会各部活動内容の宣伝・PRや、広く県民の皆様にも閲覧して頂きたい内容を発信していくことで、理学療法士としての専門性を高める一助としたり、職域拡大に繋げていく事だと考えています。

昨今は新型コロナウイルス感染症流行に伴い、生活様式が大きく変化を遂げる事になりました。従来の広報活動は、直接現地に出向き写真撮影やインタビュー等行いながら資料を紙媒体で作成し、郵送やFAXでの対応がメインとなっていました。近年は感染症対策で直接出向く事も難しくなり、活動方式を大きく変える必要性が出てきました。コロナ禍であれ、私達の周りには理学療法を必要とする利用者様は数多く存在しており、足踏みする事無く昨日よりも今日の治療をより良いものにしていける様努力する責務が私達にはあります。広報部も会員や県民の皆様にも、出来る限りより良い情報を提供する責任があると思っています。

令和はWeb媒体やSNSが飛躍的な進歩を遂げ、よりタイムリー且つ視覚的に伝えやすい内容の広報活動が行えるようになりました。紙には紙の良い部分もありますが、過去にこだわらず、より今の時代に合わせた広報活動が展開できるよう広報活動の刷新を進めていきたいと思っています。

最後に、私自身新人の頃から研修部員として活動を開始し、活動を通して様々な講師や諸先輩方と出会うことが出来、良い刺激を日々受けておりました。年々理学療法士免許取得数は増えており、若い世代が今後の県士会活動の中心を担っていく必要があると思っています。広報を通して、県内理学療法士の質向上に寄与できるよう、精一杯邁進していく所存ですので、今後とも宜しくお願い致します。



新部長としての抱負

スポーツ支援部部長

土居 幸輝



令和4年度よりスポーツ支援部部長に就任しました、土居幸輝です。紹介の機会を与えていただき、ありがとうございます。

私のことは知らない方が多いと思いますので、簡単に自己紹介をさせていただきます。四国医療専門学校を卒業し、現在11年目になります。高校生まで野球一筋だったこともあり、理学療法士になった後もスポーツに携わりたいと思っていたところ、先輩からお誘いを受け、2年目からスポーツ支援部に入部させていただいております。

さて、スポーツ支援部では、高校野球・高校サッカー・中学バスケットボール・障がい者スポーツに対して、メディカルサポート活動を行っております。メディカルサポート活動は、スポーツ支援部の部員だけでなく、県内理学療法士の方々のご協力により成り立っています。先日、全国スポーツ理学療法運営担当者会議に参加させていただく機会がありましたが、各都道府県士会共通の課題として「マンパワー不足」が挙げられていました。本会も同様です。特に来年度は全国中学校体育大会のバスケットボール大会が香川県で開催予定のため、例年以上に皆様のご協力が必要になります。「スポーツ現場で仕事がしてみたい」、「スポーツ現場での仕事に興味がある」という方は協力していただければ幸いです。スポーツ現場は敷居が高いと思われる方もいらっしゃると思います。まずは見学だけでも可能ですので、現場の雰囲気を感じてみませんか？

サポート活動以外にもスポーツ現場に役立つ知識と技術の講習会やスポーツ理学療法研修会（一般公開講座）も行っております。今年度のスポーツ理学療法研修会はオンライン開催ではありますが、12月4日にトヨタ記念病院の坂田淳先生をお招きし、投球障害（肩・肘）についてご講演していただく予定です。詳細はまた後日、県士会HPや連絡網でアナウンスしますので興味のある方は確認をお願いいたします。

私のようにスポーツに携わりたいという思いを持って理学療法士を志した方も少なくないと思います。ぜひ一緒に香川県のスポーツ界を盛り上げていきましょう。



新部長としての抱負

健康増進推進部

寒川 祐樹



健康増進推進部の寒川です。

健康増進推進部は高齢者の健康教室・介護予防、労働者に対して腰痛予防など、壮年期から高齢期の県民に対する健康増進に寄与する事業を展開しています。

今の日本には、老後2千万円問題・人生百年時代・長生きリスクなどの問題があり、健康が注目されていますが、私達を含め実際に行動できている人は多くないと思います。県民全員が健康を意識した生活習慣が必要で、障害予防が大切になります。

現在予防の分野では他職種が活躍しており、理学療法士の職域を拡大する為にも予防分野での理学療法士の活躍が重要となります。

私達と一緒に県民の皆様の健康を守っていきましょう。



※地域活動、研修会の風景



鍋坂 信夫氏が日本理学療法士協会 名誉会員として表彰されました!



香川県理学療法士連盟会長
マオカ病院 リハビリテーション科技師長
鍋坂 信夫

1976年に理学療法士免許取得後、1978年から高松市民病院で勤務され、リハビリテーション創成期から理学療法士として従事されています。1982年からは香川県理学療法士会の活動にも尽力し、1992年から理事・副会長・会長を歴任され、1997年には社団法人香川県理学療法士会設立、2013年には一般社団法人への移行に尽力されました。香川県士会での活動とともに日本理学療法士協会代議員を勤め、現在も香川県理学療法士連盟会長として会員全体の為に労を惜しまず励まれている、とてもアグレッシブな先生です。

この度、鍋坂氏の業績が日本理学療法士協会に認められ、2022年6月名誉会員となりました。

香川県理学療法士会としても非常に嬉しい事であり、これからも鍋坂氏には香川県理学療法士会と一緒に支えてほしいと思います。

この度はおめでとうございます!!

永年会員表彰受賞されました

香川県士会活動において、長年に渡りご活躍された以下の4名の方が表彰されました!!

永年会員表彰受賞者

- ・孝寿 昇 氏 (介護老人保健施設 小山荘)
- ・大西 正志 氏 (高松協同病院)
- ・大西 和子 氏 (高松平和病院)
- ・蓮井 里美 氏 (陶山医院)

香川県の理学療法発展を支えて来られた4名の方の背中を追って、今後も会員の皆さん頑張っていきましょう!!

理学療法士リレーエッセイ企画

第5号より、香川県理学療法士会会員の皆様による、リレーエッセイ企画を開始します。知人・同僚・上司等、バトンを渡す相手は自由です!!趣味の話や想いを綴って頂き、理学療法士の輪を広げていきたいと思っています。まずは、広報部員から島さんにバトンを渡します!!

永井整形外科医院 島 聡志

僕の趣味は筋トレです。昔サッカーをしていた際にフィジカルが弱いと感じ、筋トレを初めて約10年間今も継続中です。

初めはがむしゃらにトレーニングをしていましたが、専門学校で解剖学、生理学、運動学を学び、鍛え方を自分なりに工夫する事で、より楽しく、効率よく筋トレが出来るようになりました。鍛え方が分かっているからこそ、今の仕事でも患者様に明確に伝えられる部分があります。このように自分の強みを生かした仕事に就き、日々やりがいを感じています。

まだまだ経験不足ですが、これからも患者様を支えていける理学療法士になれるように頑張ります。



令和4年度 香川県理学療法士会 理事会開催の報告

第3回理事会：令和4年5月26日(木) リモート開催(ZOOM)

第4回理事会：令和4年6月16日(木) リモート開催(ZOOM)

第5回理事会：令和4年7月21日(木) リモート開催(ZOOM)

第6回理事会：令和4年8月18日(木) リモート開催(ZOOM)

第7回理事会：令和4年9月15日(木) リモート開催(ZOOM)

賛助会員広告

義手・コルセット・補助装具・整形外科医器
補聴器・車椅子・点字器・杖

高松義肢製作所

社団法人 日本義肢協会会員
代表取締役 東原隆雄

〒761-8058 高松市勅使町 514-3

TEL:087-802-9618

(社)日本義肢協会登録・中四国 139 号

義手義足補装具コルセット
松葉杖安全杖其他整形器専門

(有)宮田義肢製作所

〒762-0042 坂出市白金町 3 丁目 5-7

TEL:0877-46-3979

FAX:0877-44-1251

Shikoku
Medical
Instruments

四国医療器株式会社

本社 〒760-0020 高松市錦町 1-11-11 In (087) 851-3318 (代)
高知 支社 〒780-0814 高知市稲荷町 10-7 In (0888) 82-3318 (代)
丸亀事務所 〒763-0072 丸亀市山北字道上 697-4 In (0877) 51-3318 (代)
東部事務所 〒761-0701 木田郡三木町池戸 2513 In (087) 898-8324 (代)

療養ベッドから介護用品
リハビリテーション機器に至るまで
より快適な療養生活のお手伝い
(有)ゴト一商事高松

高松市東植田町 812 番地 3
TEL: 087-840-4030
FAX: 087-840-4020

PT・OT・STのための総合オンラインセミナー 

1ヶ月見放題プラン
通常料金 3,080円が

980円 初回限定

「リハノメ」はPT・OT・STのための、どこでも学べるオンラインセミナーサービスです。各分野の専門家が臨床経験や研究成果に基づいた知識と技術をお届けいたします。

1ヶ月見放題プランのお申込はこちら! ▶



株式会社  gene

お問い合わせはこちらまでお願いいたします
✉ seminar@gene-llc.jp
Tel.052-325-6611 リハノメ | 検索

ケアスタッフ、看護師向け
オンラインセミナー



投稿規程

広報部では以下の原稿を募集します。

なお、投稿資格は香川県理学療法士会会員のみのとなります。

- ・各部のイベント報告や周知事項(各部長、部員)
- ・各医療圏域での活動報告や独自の取り組みなどの紹介
- ・勤務先で特徴のある取り組み紹介…etc

投稿頂ける会員の方は、広報部 三村までご連絡ください。

E-mail:mimura@obayashihp.or.jp

新企画のお知らせ!!

第5号より会員リレーエッセイを始めました!!

ご指名があった会員の方は、趣味でもPRでも何でも可ですので、原稿投稿の程、宜しくお願い致します。

個人的に指名をさせて頂き、そこから知り合い誰でも指名して県内の理学療法士皆さんにスポットを当てたいと思っています。ご協力宜しくお願い致します。

編集後記

初めまして！今回広報の編集を担当させて頂く機会を頂いた木村と生嶋です。

皆様により良い情報が届けられるよう尽力いたしますので今後ともよろしくお願いたします！

さて、第7波の大きな波は過ぎましたが、依然感染者数が多く、引き続き十分な感染症対策が必要な状況は続いています。

皆様がウイルスに翻弄されることなく健やかに過ごせられることをお祈りしております。